

令和2年7月30日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

—— 今週のトピック ——

警察から、「令和2年上半期被害者支援活動について」の報告がありました。

1 質疑等

(1) 令和2年上半期の被害者支援活動について

警務部から「令和2年上半期中、被害者支援室及び指定被害者支援要員、沖縄被害者支援ゆいセンターとの連携による各種被害者支援活動の実施状況」についての報告がありました。

公安委員から「被害者支援活動は警察の重要な任務の一つであり、警察の一つの顔である。指定被害者支援員の教育訓練、資質(スキルやマインド)の向上のための力添えとともに被害者支援制度の広報活動にも力を入れていただきたい。」「支援要員個々の力に頼るのではなくそのノウハウを組織として共有していただきたい。」旨の意見がありました。

(2) 令和2年上半期の照会センター活動状況について

警務部から「令和2年上半期中の照会センター活動状況及び九州管区内における照会センター共助訓練の実施」について報告がありました。

公安委員から「今回、熊本県警察との共助訓練の報告を受けたが、これまで九州管区内各県警察と同様の共助体制が確立していると聞き感心させられた。」旨の意見がありました。

(3) 令和622年第4回沖縄県議会(6月定例会)結果について

警務部から「県議会6月定例会(本会議)における質問・答弁の状況、常任委員会(総務企画委員会)における補正予算議案、条例議案、陳情の審査、特別委員会(米軍基地関係特別委員会)における審査等について」報告がありました。

公安委員から「水上安全条例の課題について」説明を求められた。本部長から「水上安全条例の改正案については具体的な検討を始めた段階であり、マリノレジャー業界における安全処置や規制強化に関して改正案にどのように反映させていくか、また改正して条例の確実な履行体制の確保するのかなど検討していく必要がある。」旨の説明がありました。

(4) 令和2年沖縄県水難事故防止推進協議会の開催結果について

生活安全部から「沖縄県水難事故防止推進協議会に加盟する関係機関・団体が一堂に会し、水難事故防止運動の基本方針、活動重点項目や推進事項の認識を共有した。」旨の報告がありました。

公安委員から「広報用リーフレットの配布以外の広報活動や外国人向けの注意喚起に

も力を入れてほしい。また、内因性の持病で水難事故に遭うケースもあり、事業協同組合と情報共有を密にして事故防止を図るとともに、海浜パトロールの継続強化をしていただきたい。」旨の意見がありました。

(5) 児童自立支援施設による手作りマスクの寄贈について

生活安全部から「那覇市立城北中学校若夏分校の女子生徒3名が、外出自粛中、『何か役に立ちたい。』との趣旨で、新型コロナウイルス感染拡大防止用の手作りマスク120枚の贈呈を受けた。」旨の報告がありました。

公安委員から「子供たちが、マスクを製作・寄贈することで社会の役に立てたことと、一つのことを成し遂げたという達成感は大きな自信となり、大変良かったと思います。」旨の意見がありました。

(6) 豊見城市内における強盗事件被疑者について

刑事部から前記事項について報告がありました。

(7) 本島中南部における連続侵入窃盗(更衣室荒し)事件の検挙について

【豊見城署・浦添署・宜野湾署共同捜査班】

刑事部から前記事項について報告がありました。

(8) 令和2年夏の交通安全県民運動の実施結果について

交通部から「令和2年夏の交通安全県民運動が、令和2年7月11日から同月20日までの間に実施され、交通事故の発生状況、指導取締り状況及び期間中の取組状況」について報告がありました。

公安委員から「コロナ感染症拡大の中、各警察署が交通安全対策に工夫を凝らして最大限の取組をしていると感じている。シルバー人材センターにおける高齢者に対する交通安全教育は効果が期待されるので、継続した対策を実施していただきたい。」との意見がありました。

(9) 令和2年上半期の人身事故発生及び交通違反取締り状況について

交通部から前記事項についての報告がありました。

公安委員から「コロナ感染症の影響が統計上の数字にも表れている。ステイホーム明けの反動も予想され、第2波の影響後どのようになるか判然とはしないが、下半期の対策もしっかりやっていただきたい。」との意見がありました。

(10) 要人警護の実施結果について

警備部から前記事項についての報告がありました。

(11) 出入国管理及び難民認定法違反(不法残留)事件被疑者の検挙について

警備部から前記事項についての報告がありました。

2 新型コロナウイルス感染症対策について(議題外)

公安委員から、新型コロナウイルス感染症に関して、「警察でも昨日、一昨日と感染者が出たということで、今後、警察組織で陽性者が出ることは避けられない。組織の性格上、責任感が強い人が多いと考えられるなか、今後は職員が体調不良を自発的に報告し、休暇や自宅待機を申し出られる組織となることが重要である。感染拡大防止のため幹部の役割、雰囲気作りが重要である。」との意見がありました。

3 本部長総括

本部長から「新型コロナウイルス感染症関連では、既に県警職員2人の陽性者が出ており、現下の感染状況を踏まえると今後も完全に感染を防止するということは困難と思っているが、一度に多くの職員が感染すると警察の治安維持機能に支障が出るおそれがあることから、引き続き、基本的な感染予防対策、感染拡大防止の対応についてしっかり取り組んでまいりたい。そういう意味で『在宅勤務の強化、各種イベント会議の延期・中止、各署への巡回教養の延期・中止』について取り組んでいる。公安委員からの御指摘のとおり、感染又は感染の疑いがあっても我慢して頑張って勤務してしまい、その結果、感染が広がるという事態も懸念されたが、今回はかねてから指示していたとおり、職員は体調が悪い時点で直ちに休暇を取り、また組織へも報告があるなど、一連の対応は良かったと考えている。引き続き、基本的な対応について、着実に取り組みを行い感染の拡大防止を図ってまいりたいと考えている。」との総括がありました。

4 決裁・報告等(14件)

運転免許課

- ・ 行政処分の軽減措置について
- ・ 再処分の処理結果について
- ・ 自動車教習所管理者の変更について

警備部

- ・ 警備情勢について

警備第二課

- ・ 沖縄県公安委員会事務専決規程の一部改正について

国境離島警備隊

- ・ 警察職員の援助要求について

交通規制課

- ・ 交通規制の実施(改廃)について
- ・ 新聞報道の対応結果について

生活安全企画課

- ・ 猟銃等許可更新申請に対する不更新処分について
- ・ 風俗営業者に対する営業停止命令について

広報相談課

- ・ 保有個人情報開示請求について

総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について
- ・ 公安委員会定例会会議録等のホームページ掲載について
- ・ 法定苦情等の受理報告について

5 決定・裁定(3件)

運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 審査請求に関する裁決について

広報相談課

- ・ 遺族給付金支給裁定について